



競争相手？それとも協力相手？

Competitors or collaborators?

近接している港湾は、通常ライバルと考えられるが、筆者がインド洋で発見したように協力することができる余地もある。Stephen Spark

姉妹島と呼ばれる島々がある。インド洋で 100nm も離れていないモーリシャスとレユニオンは、砂糖と観光に依存する経済やクレオール語、港湾への依存など近似している点が多い。しかし、それぞれ別々の道を歩んで発展してきた。モーリシャスは立派に独立しているが、レユニオンはフランスの海外県として同様に立派にやっている。

ルイス港とレユニオン港も異なる発展をしてきた。1980 年に Louis 港に Bulk Sugar Terminal がオープンするまでは、Louis 港では‘舢舨(はしけ)’が標準であった。同じ時期に港湾構造物は、地主の役割を持つモーリシャス港湾管理委員会(MPA)とターミナル運営に責任を有する荷役会社(the Cargo Handling Corporation Ltd (CHCL))によって商業化された。

レユニオン港は、実際は二つの港から成っている。Pointe des Galets の施設は 1886 年に供用開始されたが、都市開発によって周りが囲まれた時に、新しい港 Port Est が 2km 東に建設され、1986 年にコンテナ輸送、クルーズ旅客やローロー貨物を引

き継いだ。バルク貿易(砂糖が主体で、他にセメント、石炭、アスファルトや穀物)は、海軍基地、漁港やヨットハーバーと共に現在 Port Ouest として知られる所に留まった。

レユニオン港はまた、完全に国営の港湾部門モデルから脱却した。政府は、土地を所有し保安や重要な仕事を担当するが、日常業務、岸壁や倉庫荷役機械は商工会議所(CCIR)の責任である。また、数社の民間船内荷役業者もいる。

どちらの港も近年大きな物理的変化を遂げている。Louis 港はトランシップ事業に全力を傾け、モーリシャスコンテナターミナル(MCT)を 1999 年にオープンした。その背後の Mer Rouge では、モーリシャスフリーポートが急成長し、市の中心部に近い古い解ふ頭は Caudan の小売地区やホテル地区に姿を変えた。そして、11 月には石油の取扱いを多目的ターミナル(MPT)から新しい棧橋(55,000tの船が接岸できる)に移動させた。

最近承認された 2 億ドルの新しい計画の下で、MCT は 3 番目のバースや防波堤、より広いコンテナヤードを造り、16m の浚渫を行う。2011 年に新しい発電所が稼働すると石炭の取扱いが 2 倍になると予測されるので、それに備えて MPT もまた拡大し、岸壁を増強することになっている。

漁船団は、Trou Fanfaron にある窮屈な基地から、砂糖ターミナルの隣の新しい港に移転する。(砂糖ターミナルは、砂糖が島で精製され、コンテナで輸出される今年から使われなくなる。)これに近接したクルーズターミナルは、Caudan の新しい展開用の(従来の 4 倍大きい)Les Salines にある MPA の埋め立て地で具体化しつつある。

レユニオンは、第 3 四半期までに Ouest 港から大半のドライバルクを移動させるための 2 つの新しい岸壁の整備、港口部の拡幅、回頭泊地の 480m への拡大等の Port Est での事業にフランスと EU の資金 82M ユーロを投資してきた。これらの変更によって、クルーズ船の乗客はもう岸壁のスペースを石炭と共有する必要がなくなる。更に大きな拡大のためのスペースがあり、既に少なくとも 5 つの岸壁が計画されている。

Ouest 港で、先月レユニオンのすべての漁船団が停泊できる新しいドックがオープンした。将来、砂糖の貨物輸送も東に移動する時に、魅力的な石造りの倉庫や植民地時代の家がある旧港地区は、Caudan の整備により、豪華ヨット用施設を備えたレジャー、住居、商店用に転換される。

モーリシャスとレユニオンは、主要な顧客と海運ルート上の寄港地となることをかけて厳しく戦わなければならないが、単に港湾拡張競争を行うだけではなく、協調への道も見いだしてきた。

2006 年、MPA と CCIR は、インド洋諸島港湾協会(APIOI)を組織するためにマダガスカル共和国のトアマシナ港、セイシェル港湾局(SPA)と同盟を結んだ。その設立書には、「世界貿易のグローバル化が進展する中で、インド洋海域は、(中国、インドとアフリカ間)の主要な海運軸の交差点になるべきであり、そこに位置している港は自分たちに提供される好機をつかむべきである。」と述べられている。その後、フラ

ンスの島であるメイヨットが加わり、コモロはメンバーになるために申し込みをしている。

「インド洋にある我々の多くの港には、多くの補完性がある。」と、10月のインド洋港湾・ロジスティック会議においてMPA会長のダスチェアマンは言った。CCIRの商業担当理事であるジーン・ロバートは相互接続のテーマを取り上げ本誌に、「私たちは他の港なしでの発展はありえない。共に働く仲間が必要である。」と述べた。

一つの港の問題が隣の港に波及しうることが、理由の一部である。「1年前モーリシャスでは港が船で混雑し、コンテナをさばくことができずに船が遅れ、その影響は我々の島まで及んだ。」その場合にポートルイス(モーリシャスの首都)の損失が、レユニオンの利益となるならば、それらの貨物輸送は少なくとも遠くに行つて無くなってしまふよりこの地域に残つた方が良い。「私たちは、ポートルイスとのトランシップ輸送を発展させていきたい。」とロバートは付け加えた。

SPA最高責任者のLt Col Andre Ciseauは次の様に述べた。「セイシェル共和国のような小さな島の国々にとって、疎外化される恐怖は身近な話である。というのは、貿易が、少数の主要な船社が就航し、小さな国々では受け入れることができない従来よりも大きな船によって搬入される巨大なハブに集中してきているからである。」彼は、「APIOI諸国は彼ら自身のフィーダー船会社を設立するかもしれない」と述べ、「モーリシャスとセイシェル共和国は漁業で競い合っているが、この二つの国は、インド洋の港により多くの観光船を寄港させると言う点で協力できる」と言った。

保安は、地域的な戦略が意味を持つもう一つの分野である。レユニオンのEEZで違法な漁業を実施しているアジアの大型船を引き合いに出し、「我々は、海賊のための警察の保安対策で協力しようとしている。」とロバートは言った。MPAのshekur Suintah理事長によると、それらはモーリシャスの懸案事項でもある。セイシェル共和国にとって海賊はただ魚を盗むのではなく船を盗む人々であり、彼らがセイシェル諸島の領海に近づくほど、より貿易を脅かすことになる。国際的な共同行為だけがこの問題に対処することができる。とCiseauは強く主張した。

グローバル化する貿易によって促進された熾烈な争いは、港に協力も必要であることを意識させた。CCIRのロバートは、「我々は、顧客の品質のために競争をするが協力も行う。もしあなたが競争だけを取ろうとするならば、あなたの港は競争に敗れるであろう。」と締めくくった。

(抄訳者:九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 時任博之)
(校閲:五洋建設株式会社 常務執行役員 大内 久夫)

二島の比較

	モーリシャス	レユニオン
面積	1,860km ²	2,507km ²
人口	127万人(2008)	79.3万人(2005)
言語(公式)	英語、フランス語 クレール語、ホッシュプリー語	フランス語 クレール語
通貨	モーリシャス ルピー	ユーロ
首都	ポートルイス	セントデニス
一人当たりGDP	\$11,276	\$20,406(2006)
歴史	1507 ポルトガル人が発見 1598-1710 オランダが定住 1715-1810 仏が所有 1810-1968 英の植民地 1968年3月12日 独立	1512 ポルトガル人が発見 1642 仏が所有(ブルボン島) 1793 レユニオンと改名 1946 仏の県
主要輸出産業	砂糖(17%)、戦意(16%) 観光、海産物加工	砂糖(85%)、観光
砂糖輸出货量	442,000t	182,000t
観光客(入り)	907,000	409,000(2005)

港湾の比較

	モーリシャス	レユニオン
商港	ポートルイス ポートルイス(ポートルイス)	ポートルイス (ポートルイスとポートルイス)
港湾管理者	モーリシャス ポートルイス オーソリティ(MPA)	レユニオン商工会議所
荷役権限	荷役会社(CHC)	レユニオン商工会議所
機器	STSクレーン5基 RTGクレーン4基(+4基2009年半ば)	STSクレーン4基 ストラトルキャリアー18基
	リーチスタッカー8基(+4基注文中)	リーチスタッカー、モービルクレーン1基
コンテナ: 自国用	215,072TEU(+21.5%)	218,376TEU(+10.5%)
コンテナ: トランシップ	108,321TEU(+4.85%)	6,497TEU(+98.3%)
コンテナ: 合計	323,393TEU(+15.3%)	224,873TEU(+12%)
ドライバルク	167万t(+6.6%)	152万t(+9.0%)
液体バルク	119万t(+9%)	676,190t(+8.6%)
総貨物量	646万t(+9%)	421万t(+6.7%)
クルーズ旅客(寄港数)	約10,000(22)	6,756(10)